

I C T活用による学校業務の効率化の推進に関する請願

1 趣 旨

社会全般においてI C T機器の活用が進む中、学校教育においても教育効果向上のための有効な手だてとして活用が広がっている。さらに、学校業務改善にもI C T活用は効果を発揮しており、特に、現在注目されているのは「学校・保護者間の連絡手段をデジタル化」する取組である。他県においては、教職員の働き方改革を進め、子どもに寄り添う時間を増やすことを狙いとして、専用のアプリを導入するところが増えている。アプリを活用している学校では、以下のような取組と成果が報告されている。

①保護者向けアンケートをオンライン化

- ・家庭・・・用紙の紛失がなくなり、学校提出の手間も削減。スマートフォンでどこでも入力可能になった。
- ・学校・・・大量印刷や子どもへの配付の手間が削減。紙代が削減。結果が自動で集計される。

②欠席・遅刻連絡のオンライン化

- ・家庭・・・「電話がつながらない」が解消。
- ・学校・・・電話対応の時間が削減。学校全体で欠席状況が共有可能となった。

③お便りのデジタル配信

- ・家庭・・・迅速に情報を入手できる。お便りが種類ごとに自動で整理される。
- ・学校・・・大量印刷や子どもへの配付の手間が削減。紙代が削減。

様々な事情を抱えた子どもたちが増える中、学校では、子どもたち一人一人にじっくり関わる時間を確保することが求められている。そのためには、業務を効率化する手段としてのI C T活用を自治体主導で進めていくことが重要である。

そこで、下記のとおりで請願する。

記

家庭や学校の負担軽減を図り、教職員が子どもたちとじっくり関わるができる時間を増やすために、I C T活用による学校業務の効率化を市町と連携して進めること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 矢田弘

3 紹 介 議 員

仲倉典克、西畑知佐代、西本恵一、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和4年11月18日